

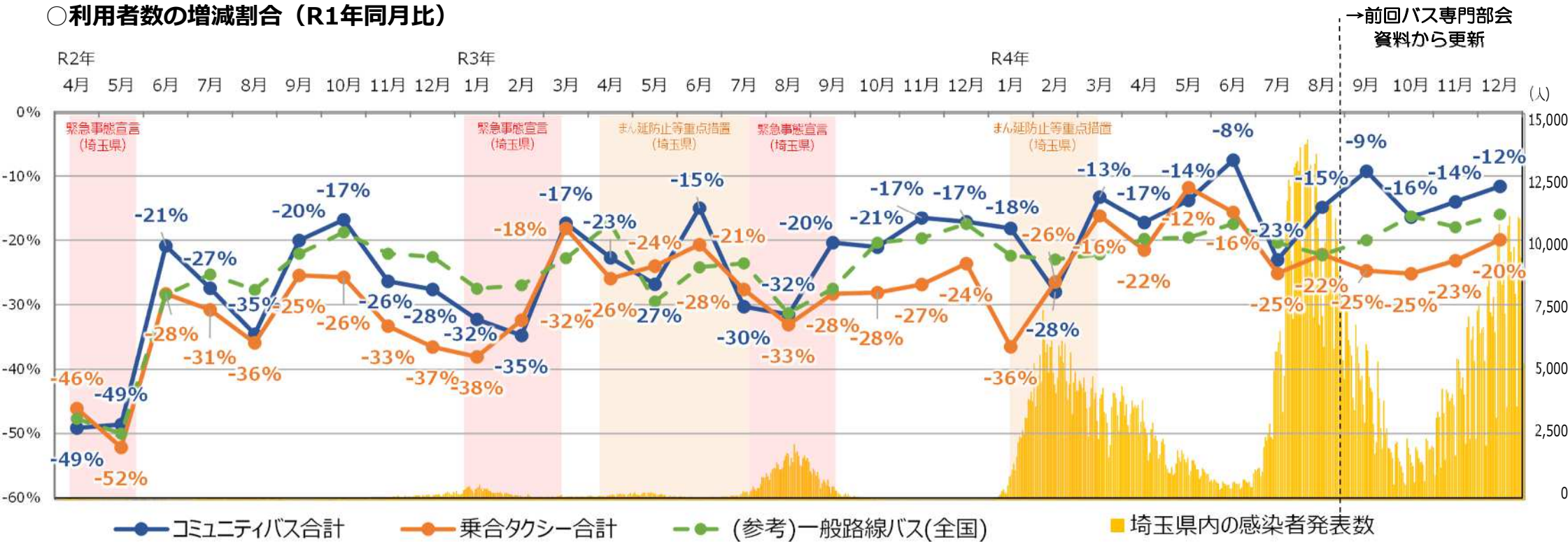
コミュニティバス等の利用者数・収支率の取扱いについて

1. コミュニティバス等の利用状況

(1) 新型コロナウイルス感染症によるコミュニティバス等への影響

- ・コミュニティバス、乗合タクシーの利用者数をR1年同月と比較すると、R2年4月以降のすべての月で減少している。
- ・政府による行動制限がなかったR4年4月以降は、10~25%程度減少している。
- ・新型コロナウイルス感染症第8波によるコミュニティバス等への影響については予測が難しいため、引き続き動向を注視していく。

○利用者数の増減割合 (R1年同月比)



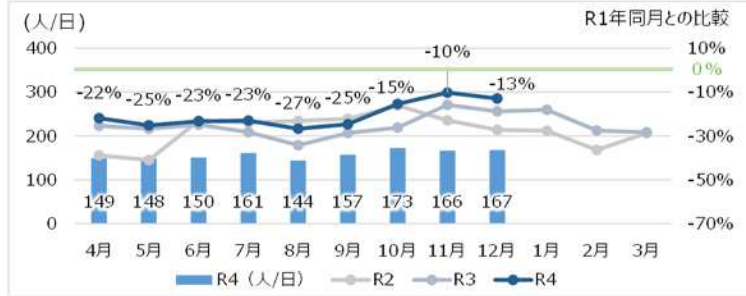
※1 「(参考)全国(一般路線バス)」は『新型コロナウイルス感染症による 関係業界への影響について (R3年2月末時点~R4年12月末時点まとめ) (R3年3月~R5年1月、国土交通省)』を基に作成
 ※2 「埼玉県内の感染者発表数」はNHKが各自治体や公的機関の発表数値を基にまとめている「都道府県ごとの感染者数の推移」のデータを基に作成
 ※3 休日運行の利用者数は集計に含めていない。(西区・岩槻区: H31年1-3月、岩槻区・見沼区: R3年6月)(コミュニティバス)
 ※4 実証運行の利用者数は集計に含めていない。(見沼区片柳西地区、北区吉野町地区、桜区大久保・中央区西与野地区)(乗合タクシー)
 ※5 並木・加倉地区のH31年1月の運行日数は3日のみであるため、R3年1月、R4年1月の値は並木・加倉地区を集計対象から除外している。(乗合タクシー)

コミュニティバス等の利用者数・収支率の取扱いについて

(2) コミュニティバス等の利用者数の推移

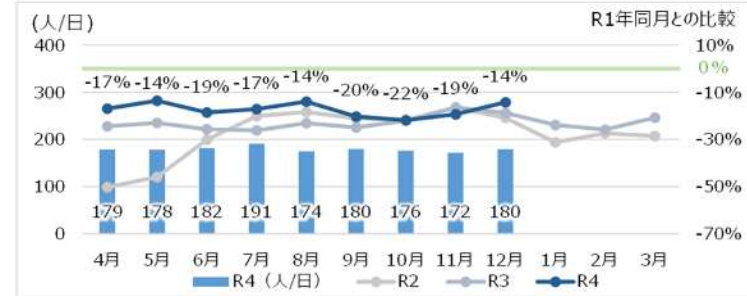
コミュニティバス

西区



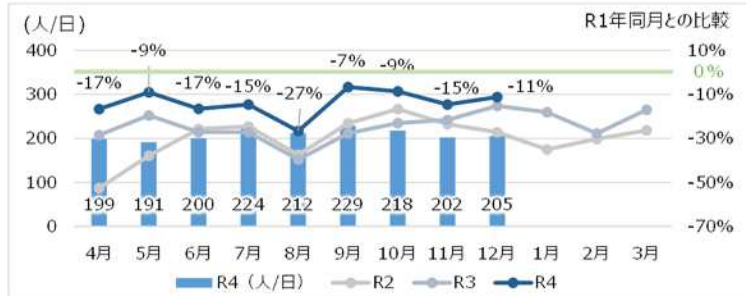
収支率
 R1 : 25%
 R2 : 17%
 R3 : 17%
 R4予測値 : 18%

見沼区



収支率
 R1 : 31%
 R2 : 23%
 R3 : 22%
 R4予測値 : 20%

南区



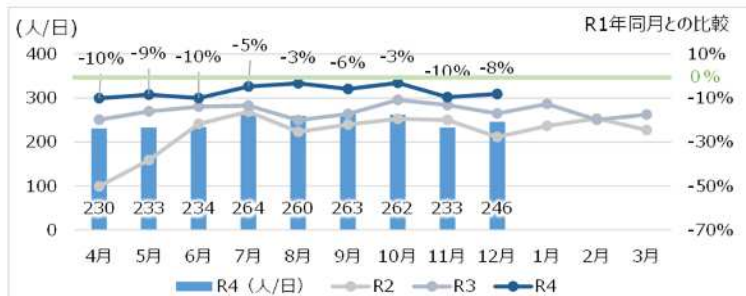
収支率
 R1 : 34%
 R2 : 23%
 R3 : 24%
 R4予測値 : 25%

桜区



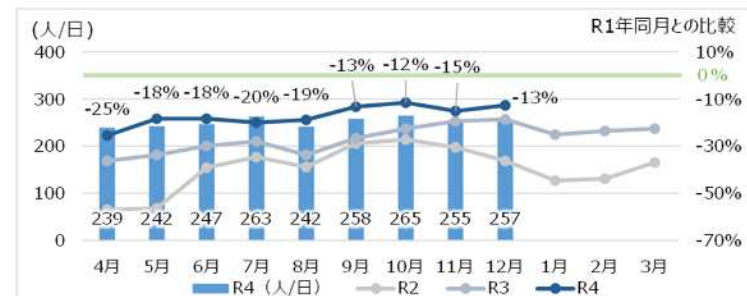
収支率
 R1 : 33%
 R2 : 24%
 R3 : 22%
 R4予測値 : 22%

北区



収支率
 R1 : 39%
 R2 : 30%
 R3 : 36%
 R4予測値 : 40%

岩槻区



収支率
 R1 : 40%
 R2 : 26%
 R3 : 32%
 R4予測値 : 36%

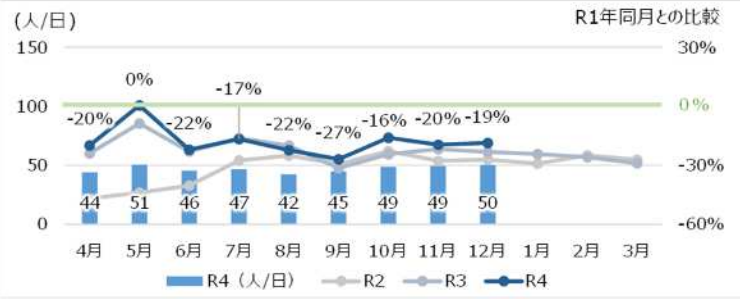
- いずれの路線でも、R2年度やR3年度の利用者数と比較してR4年度の利用者数は増加傾向にある。
- 北区・岩槻区の収支率についてはR1年度と同等の水準まで回復しているが、それ以外の4区についてはR1年度水準まで回復していない。

コミュニティバス等の利用者数・収支率の取扱いについて

(2) コミュニティバス等の利用者数の推移

乗合タクシー

岩槻区和土地地区(レインボー号)



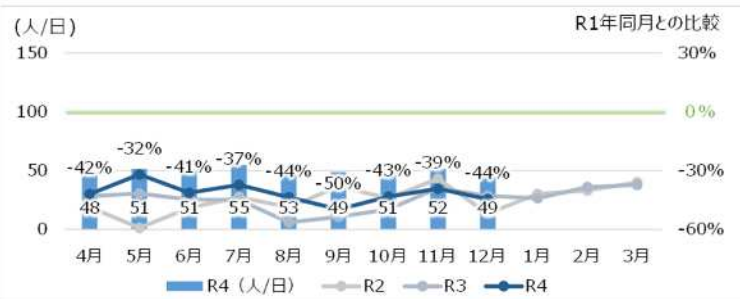
収支率
 R1 : 38%
 R2 : 29%
 R3 : 27%
 R4予測値 : 28%

西区指扇地区(あじさい号)



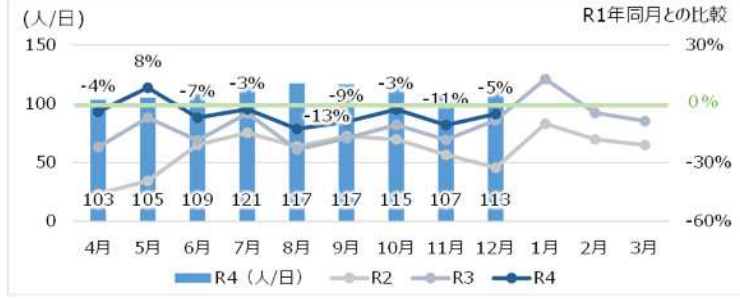
収支率
 R1 : 34%
 R2 : 18%
 R3 : 20%
 R4予測値 : 19%

見沼区大砂土東地区(みぬま号)



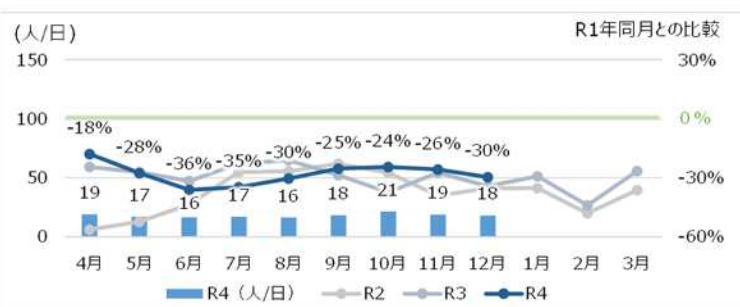
収支率
 R1 : 71%
 R2 : 37%
 R3 : 33%
 R4予測値 : 33%

岩槻区並木・加倉地区(らくらく号)



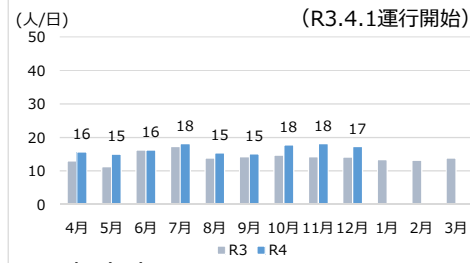
収支率
 R1 : 44%
 R2 : 34%
 R3 : 37%
 R4予測値 : 40%

見沼区片柳西地区(カワセミ号)



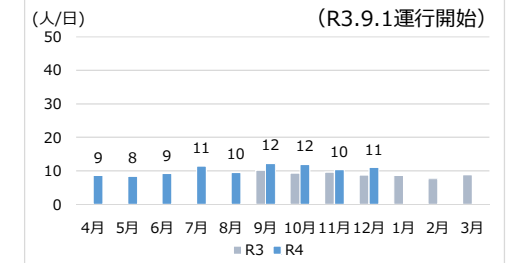
収支率
 R1 : 20%
 R2 : 14%
 R3 : 14%
 R4予測値 : 13%

北区吉野町地区(宮原なかよし号)



収支率 R3 : 10%
 R4予測値 : 10%

桜区大久保・中央区西与野地区(むさし号)



収支率 R3 : 6%
 R4予測値 : 6%

- 多くの路線でR2年度やR3年度の利用者数と比較してR4年度の利用者数は増加傾向となっている。
- 岩槻区並木・加倉地区では利用者数が概ねR1年度と同水準まで回復しているが、それ以外の地区についてはR1年度水準まで回復していない。
- 北区吉野町地区、桜区大久保・中央区西与野地区は、コロナ禍での実証運行開始のため、利用が伸び悩んでいると予想される。

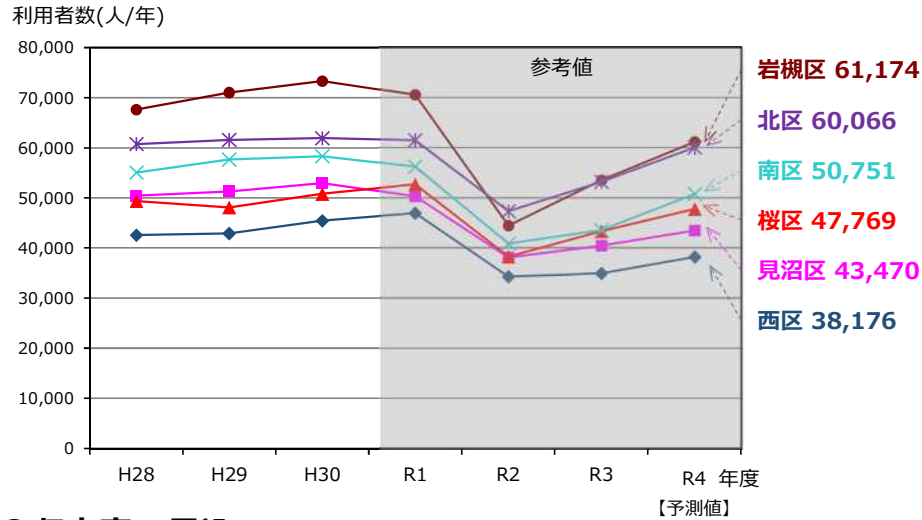
コミュニティバス等の利用者数・収支率の取扱いについて

(3) R4年度のコミュニティバス等の年間利用者数・収支率見込み

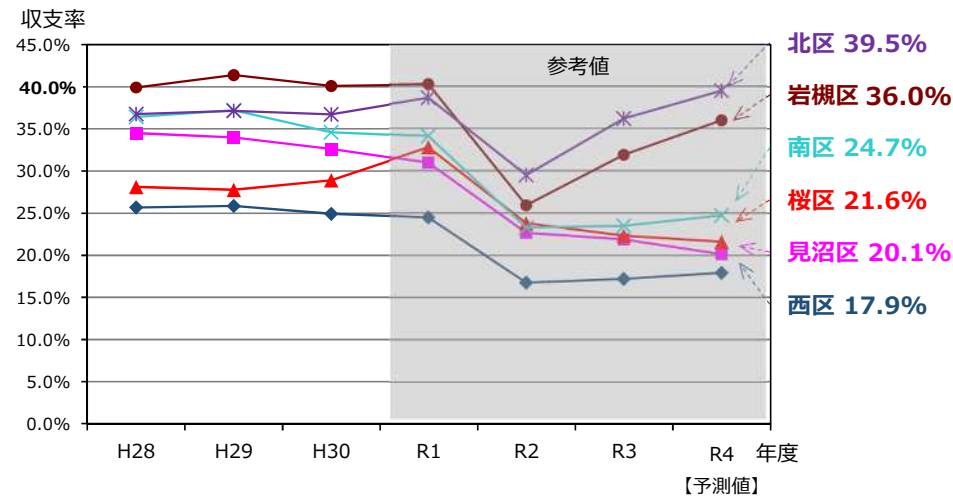
- R4年3月の地域公共交通協議会において、R1年度～R3年度と同様にR4年度の収支率等を参考値扱いとすることが決定している。
- R4年4月～12月までの実績から、R4年度の数値を予測した。
- 地区によって利用状況及び収支率にバラツキがある。

コミュニティバス

① 年間利用者数の見込み

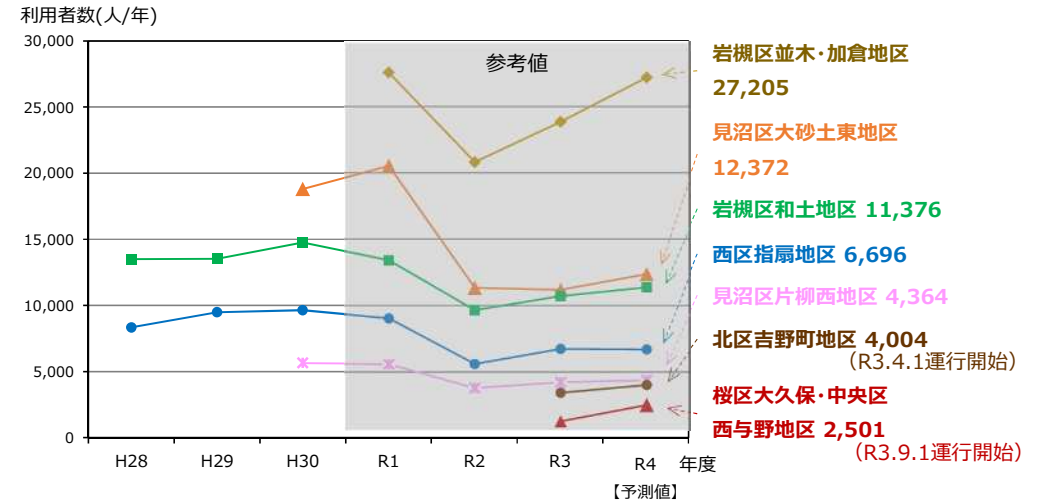


② 収支率の見込み

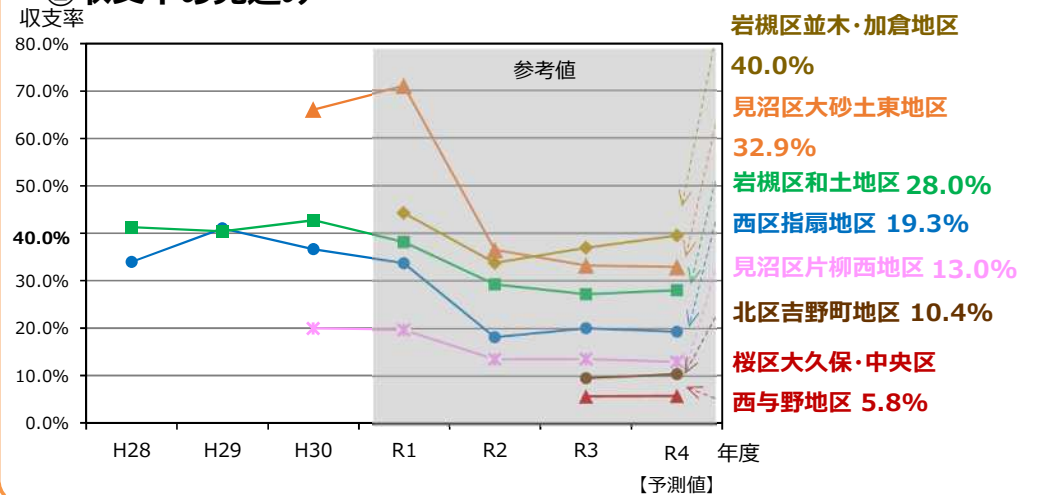


乗合タクシー

① 年間利用者数の見込み



② 収支率の見込み



※利用者数の見込みはR4年4～12月の平均利用者数を1年間分に拡大した値、収支率の見込みはR4年4月～12月のひと月あたりの平均収入をひと月あたりの経費の見込み(※R4年度交付申請時)で除した値である。

コミュニティバス等の利用者数・収支率の取扱いについて

2. 収支率の取扱い

(1) 背景

- R4年4月以降は政府による行動制限がなかったものの、利用者数については流動的であった。
- コミュニティバス・乗合タクシーについては地区によって利用状況にバラツキがあり、今後の予測は難しい。
- したがって、「コミュニティバス等導入ガイドライン」で判断することは困難であるため、R5年度のコミュニティバス等の運行の継続・改善・廃止の判断については、引き続き参考値として取り扱いたい。



(2) 提案

運行継続・運行廃止・運行改善の判断

R5年度の運行継続・運行廃止・運行改善については、以下の3点を提案したい。

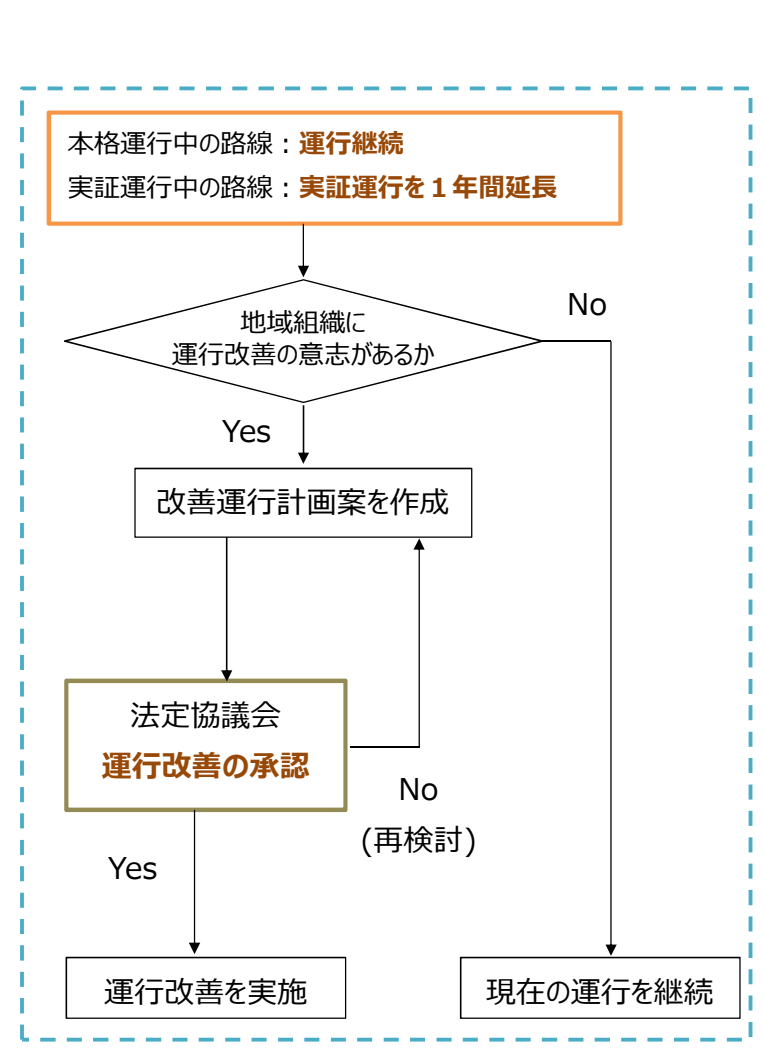
- 収支率等は参考扱いとする。
- 実証運行^{*1}の期間はR6年3月31日まで1年間延長する。
- 運行改善は必要に応じてできるものとする。

※1 見沼区大砂土東地区乗合タクシー除く

※2 R6年度の運行継続・廃止・改善の判断については、改めてお諮りする。

(3) 今後の検討フロー

R5年度



R6年度

バス専門部会及び地域公共交通協議会にて
R6年度の取扱いについて改めて諮る